



としょだより5月号

薩摩川内市立手打小学校・令和5年5月19日発行



気持ちのいい季節です。

ゴールデンウィークが過ぎ、すっかり暖かくなり過ごしやすい季節になりましたね。

さて、みなさんは田んぼの脇道で鳥の写真を撮られている方を見かけたことはありますか？
下甕島は渡り鳥が多く飛来し、手打小学校の周辺でも珍しい渡り鳥を観察することができるそうです。今なら、普段は見られない珍しい鳥を見つけられるかもしれませんね。

また、5月10日～16日は「愛鳥週間」でした。野生の鳥が住みやすい豊かな自然を守りたいですね。図書室にある鳥の図鑑で名前や生態を調べてみましょう！

ぜひ、珍しい鳥を見つけたら教えてくださいね。



今月のおすすめ！

「わたしたちのカメムシずかん」はある学校で起きた実際の出来事が絵本になっています。大量発生したカメムシを町中のみんなが嫌っていましたが、ある日校長先生が「カメムシについて調べてみましょう！」と提案します。

すると子どもたちはカメムシ探しに夢中になり、資料で調べて「カメムシずかん」をつくり始めます。サブタイトルどおり「やっかいものが宝ものになった話」です。自分の見方を変えるだけで苦手だと感じていたことも楽しく思えると教えてくれる絵本です。



4月の貸出冊数

1・2年生・・・110冊
(1人平均18冊)

3・4年生・・・67冊
(1人平均13冊)

5・6年生・・・54冊
(1人平均18冊)

いいスタートができました！



～本を元の場所に戻しましょう～

自分の名前が書いてある代本板だけを見て本を返すと、元の場所とは違うところへ返してしまいます。

本を返すときは「ラベル」まで見て、返しましょう。

本の後ろに貼ってある「ラベル」を見ると、本の分類がわかります。

例えば「4」から始まる数字が書いてあったら「自然科学」→動物や植物、宇宙や実験についての本です。

本の住所を調べてみると面白いですよ！

